

厚生労働大臣 殿

愛媛大学長 柳澤 康仁

愛媛大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	57 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	217人	181人	344.3人	看護補助者	66人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	11人	16.6人	理学療法士	6人	臨床検査技師	45人
薬剤師	41人	1人	41.7人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	11人	0人	11.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	599人	23人	615.7人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	17人
歯科衛生士	4人	0人	4.0人	歯科技工士	3人	事務職員	131人
管理栄養士	10人	0人	10.0人	診療放射線技師	31人	その他の職員	24人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	498.1 人	13.9 人	512.0 人
1日当たり平均外来患者数	1200.7 人	62.3 人	1263.0 人
1日当たり平均調剤数	外来処方 195剤	入院処方 573剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	79人	・膿疱性乾癬	0人
・多発性硬化症	118人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	93人	・原発性胆汁性肝硬変	254人
・全身性エリテマトーデス	369人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	130人
・再生不良性貧血	75人	・混合性結合組織病	122人
・サルコイドーシス	182人	・原発性免疫不全症候群	38人
・筋萎縮性側索硬化症	37人	・特発性間質性肺炎	120人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	309人	・網膜色素変性症	68人
・特発性血小板減少性紫斑病	99人	・プリオン病	8人
・結節性動脈周囲炎	45人	・肺動脈性肺高血圧症	16人
・潰瘍性大腸炎	143人	・神経線維腫症	40人
・大動脈炎症候群	30人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	75人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	53人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	53人	・ライゾーム病	7人
・クローン病	60人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	9人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	4人	・脊髄性筋委縮症	9人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	155人	・球脊髄性筋委縮症	1人
・アミロイドーシス	2人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	42人
・後縦靭帯骨化症	228人	・肥大型心筋症	249人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	3人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	41人	・ミトコンドリア病	14人
・ウェゲナー肉芽腫症	49人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	77人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	13人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	25人	・黄色靭帯骨化症	65人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	9人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	472人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
整形外科低侵襲手術のための技術開発およびトレーニングシステムの構築	三浦 裕正	大学院医学系研究科	1,000,000	補委 日本学術振興会
新規intravital蛍光イメージングシステムの開発とがん微小環境の解析	今村 健志	大学院医学系研究科	13,100,000	補委 文部科学省
傷害脳に出現するマクロファージ様細胞BINCsの多能性幹細胞性の証明	田中 潤也	プロテオ医学研究センター	3,700,000	補委 日本学術振興会
地域住民における睡眠呼吸障害が糖代謝に及ぼす影響に関する疫学研究	谷川 武	大学院医学系研究科	2,600,000	補委 日本学術振興会
Atg5依存性オートファジーによる表皮角化細胞の自然免疫機構の解明	佐山 浩二	大学院医学系研究科	3,200,000	補委 日本学術振興会
分子遺伝子学的診断に基づいた口腔癌に対する個別化免疫化学療法の開発	浜川 裕之	大学院医学系研究科	3,600,000	補委 日本学術振興会
オステオポンチン蛋白多型部位を標的とする糸球体腎炎新規治療法の開発	宮崎 龍彦	大学院医学系研究科	900,000	補委 日本学術振興会
血管新生可視化マウスの作成と新規抗腫瘍血管剤評価系の確立	井上 博文	大学院医学系研究科	600,000	補委 日本学術振興会
小麦胚芽蛋白質合成系を活用したレジスチン特異抗体の作成と全自動測定システムの開発	西田 亙	大学院医学系研究科	1,000,000	補委 日本学術振興会
過酸化脂質及びオキシステロールの法医学診断への応用	浅野 水辺	大学院医学系研究科	521,918	補委 日本学術振興会
インターロイキン18とオステオポンチンの相互作用と腎線維化に関する役割解明	大蔵 隆文	大学院医学系研究科	800,000	補委 日本学術振興会
DNAメチル化修飾を統合したレジスチン遺伝子発現制御因子の網羅的解析	大沼 裕	大学院医学系研究科	1,000,000	補委 日本学術振興会
熱性痙攣重積後の内側側頭葉てんかん発症の病態解明と新たな予防戦略の開発	福田 光成	医学部附属病院	500,000	補委 日本学術振興会
MLL融合蛋白による腫瘍化過程の解明と新規治療法の開発	江口 真理子	大学院医学系研究科	1,000,000	補委 日本学術振興会
TEL-AML1陽性白血病発症の分子機構の解明と分子標的療法の開発	江口 峰斉	医学部附属病院	1,000,000	補委 日本学術振興会
先天性心疾患の責任遺伝子の同定と心臓幹細胞を用いた機能解析	桧垣 高史	医学部附属病院	1,200,000	補委 日本学術振興会
皮膚自然免疫機構からみた掌蹠膿疱症の発症機序に関する研究	村上 正基	医学部附属病院	100,000	補委 日本学術振興会
IL-22Rを強発現した三次元培養皮膚を免疫不全マウスに移植した乾癬モデルの開発	藤山 幹子	医学部附属病院	800,000	補委 日本学術振興会
臓器移植における抗体関連型拒絶反応の機序解明と制御に関する研究	渡邊 常太	大学院医学系研究科	800,000	補委 日本学術振興会
脳梗塞後遺症・神経変性疾患における骨髄ストローマ細胞を用いた脳保護作用の検討	茂木 正樹	大学院医学系研究科	600,000	補委 日本学術振興会
免疫反応を調節する制御性T細胞の脳虚血に対する保護機構	阪中 雅広	大学院医学系研究科	400,000	補委 日本学術振興会
二分脊椎モデルの運動障害に関する基礎的研究	松田 正司	大学院医学系研究科	500,000	補委 日本学術振興会
RNA解析による顔面神経麻痺の超早期予後診断法の開発ー表情筋針生検材料を用いてー	羽藤 直人	大学院医学系研究科	1,100,000	補委 日本学術振興会
FGF7 signalへの性ホルモンの作用とドライアイへの応用	林 康人	医学部附属病院	500,000	補委 日本学術振興会
膜結合型増殖因子の分子機構:リンパ浮腫治療戦略の創成	中岡 啓喜	医学部附属病院	1,000,000	補委 日本学術振興会
低体温療法時の合併症に対する防止法の開発	相引 眞幸	大学院医学系研究科	1,000,000	補委 日本学術振興会
全身老化指標としての血管老化	小原 克彦	大学院医学系研究科	1,000,000	補委 日本学術振興会
虚血機序に基づく内耳障害の治療戦略ーナノカプセル型人工酸素運搬体の検討	暁 清文	大学院医学系研究科	500,000	補委 日本学術振興会
血管内皮細胞の増殖促進と抑制の新規バランス制御分子による腫瘍血管新生制御の解析	東山 繁樹	プロテオ医学研究センター	5,200,000	補委 文部科学省
HB-EGF前駆体切断機構を利用したSHEDDING活性可視化と腫瘍転移予測	井上 博文	大学院医学系研究科	4,600,000	補委 文部科学省
サルコペニック肥満の病態解明に関する研究	小原 克彦	大学院医学系研究科	3,700,000	補委 日本学術振興会
骨リモデリング機構解明のための革新的蛍光イメージングシステムの開発	今村 健志	大学院医学系研究科	4,900,000	補委 日本学術振興会

神経栄養因子を用いた嚙下関与筋のアンチエイジングに関する研究	田口 亜紀	大学院医学系研究科	600,000	補委	日本学術振興会
レジスチンによる免疫機構の変化を介した糖尿病発症メカニズムの解明と発症予知	高田 康德	医学部附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
地域における循環器疾患対策のための新たな評価モデルの構築	斉藤 功	大学院医学系研究科	1,200,000	補委	日本学術振興会
伝統薬物成分の紫外線による光化学療法および発癌抑制とその作用機構	木村 善行	大学院医学系研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
自己免疫性膵炎におけるBAFF, APRILの臨床的有用性についての検討	熊木 天児	医学部附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
特発性心筋症における網羅的遺伝子解析による心血管事故リスク層別化の検討	大木元 明義	医学部附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
オーロラキナーゼを標的とした成人T細胞白血病に対する新たな包括的治療戦略	東 太地	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
血小板アポトーシス反応の生理的役割と臨床的意義	羽藤 高明	医学部附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
脱髄疾患に対するケトン食療法の新たな応用—ケトン体の神経保護作用機序の解明—	鈴木 由香	大学院医学系研究科	900,000	補委	日本学術振興会
ヒト化動物モデルを用いた難治性EBウイルス感染症の免疫治療に関する研究	田内 久道	医学部附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
間歇型一酸化炭素中毒モデルの作成と解析研究	福原 竜治	医学部附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
認知症でみられる作話・取り繕い、妄想の客観的臨床指標の作成とバイオマーカーの確立	谷向 知	大学院医学系研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
生理学的な血流シミュレーションシステムに基づく小児複雑心奇形手術の術式最適化計画	鹿田 文昭	医学部附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
心停止ドナーからの胚移植後の虚血再灌流障害の機序解明と抑制	岡崎 幹生	医学部附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
浸潤細胞を使って脳梗塞を治す	久門 良明	大学院医学系研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
幼若骨髄単核球移植による、老齢マウスでの脳虚血保護効果	秦 龍二	大学院医学系研究科	1,700,000	補委	日本学術振興会
生体イメージングを用いたグリオーマ幹細胞と血管新生・癌微小環境ダイナミズムの解明	高橋 寿明	大学院医学系研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
BDNF遺伝子を過剰発現させた自家マクロファージ硬膜内注入による脊髄損傷の治療	尾形 直則	医学部附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
移植骨の生着を促進する再置換用人工関節近傍の周辺環境設計	間島 直彦	医学部附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
スパン80ベシクルによるDDSを用いた骨腫瘍に対するカフェイン療法の開発	木谷 彰岐	医学部附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
ポリマー多重加工オンコリティックアデノウイルスによる卵巣癌特異的遺伝子治療法開発	濱田 雄行	医学部附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
神経幹細胞による虚血性内耳障害抑制効果の機序解明の研究	白馬 伸洋	医学部附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
マウス角膜上皮幹細胞マーカー同定の試み	白石 敦	大学院医学系研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
ケラチン12遺伝子発現のメカニズム解析	大橋 裕一	大学院医学系研究科	2,100,000	補委	日本学術振興会
ホルモンレセプターをターゲットにした悪性唾液腺腫瘍の新規治療法の開発	住田 知樹	医学部附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
革新的インビボEMTイメージングシステムの開発とがん転移機構の解明	今村 健志	大学院医学系研究科	1,300,000	補委	日本学術振興会
常温遺伝子増幅によるメチル化シトシンinsitu検出法の開発	北澤 荘平	大学院医学系研究科	500,000	補委	日本学術振興会
警察官における睡眠呼吸障害の実態と客観的指標を用いた注意力に関する疫学研究	谷川 武	大学院医学系研究科	900,000	補委	日本学術振興会
高齢者の慢性炎症と貧血に関する疫学研究—鉄代謝障害を中心として—	満田 憲昭	大学院医学系研究科	1,400,000	補委	日本学術振興会
老年者フレイルティーの新しい評価指標としての立位動揺性	三木 哲郎	プロテオ医学研究センター	900,000	補委	日本学術振興会
可溶性T細胞レセプター修飾分子を用いた革新的がん治療法の開発	安川 正貴	大学院医学系研究科	1,200,000	補委	日本学術振興会
DNAチップを用いた間歇型一酸化炭素中毒への進展を予測する指標作成のための研究	上野 修一	大学院医学系研究科	1,200,000	補委	日本学術振興会
重症脳傷害治療のために病巣核心部に移植すべき細胞種を決定する	田中 潤也	プロテオ医学研究センター	1,300,000	補委	日本学術振興会
アカントアメーバの角膜への感染機序の解明	坂根 由梨	大学院医学系研究科	900,000	補委	日本学術振興会
口腔癌における分泌型microRNAの発現と機能	浜川 裕之	大学院医学系研究科	1,200,000	補委	日本学術振興会
かゆみに影響する要因とかゆみを緩和するケアの検討	佐伯 由香	大学院医学系研究科	400,000	補委	日本学術振興会

しびれの多次元的測定・評価方法の確立と、しびれ評価ガイドラインの作成	赤松 公子	大学院医学系研究科	600,000	補委	日本学術振興会
トランス脂肪酸が肝臓での発癌、抗原特異的な免疫機能に与える影響の解明	三宅 映己	大学院医学系研究科	1,400,000	補委	日本学術振興会
がん細胞の薬剤耐性診断に向けた絶対定量プロテオーム解析基盤の構築	武森 信暁	プロテオ医学研究センター	1,400,000	補委	日本学術振興会
胎児性上皮組織「総排泄腔」に着目した泌尿生殖系平滑筋成分の発生研究	原口 竜摩	大学院医学系研究科	1,200,000	補委	日本学術振興会
睡眠呼吸障害が糖尿病患者のうつ症状に及ぼす影響に関する多施設共同疫学研究	古川 慎哉	医学部附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
急性腎障害におけるトロンビン切断型オステオポンチンの役割と抑制効果の解明	入田 純	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
皮膚構成細胞に対するLEDの作用メカニズムの解析	宮脇 さおり	医学部附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
脂腺細胞の新規分泌膜小胞セボゾームの生成、分泌機構の解明	永井 彩子	医学部附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
定型発達児ならびに発達障害児の不眠に対する認知行動療法的アプローチ法の開発	堀内 史枝	医学部附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
磁力を用いた新たな温熱化学療法の実用化	山本 祐司	医学部附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
ES細胞由来神経幹細胞を用いた、虚血性難聴に対する革新的な再生療法の実用化	高木 太郎	医学部附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
口腔癌術後補助療法における樹状細胞ワクチン療法の有用性に関する検討	田野 智之	医学部附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
術後急性期患者に対する身体抑制の実施および解除に至る判断基準モデルの構築	森 万純	大学院医学系研究科	500,000	補委	日本学術振興会
インフラマソームを活性化する内因性リガンドの探索・同定とその病理学的意義の解明	増本 純也	プロテオ医学研究センター	3,600,000	補委	文部科学省
動脈硬化性疾患のリスク評価における感受性遺伝子の交絡解明とエビデンス構築	三木 哲郎	プロテオ医学研究センター	2,300,000	補委	日本学術振興会
動脈硬化性疾患のリスク評価における感受性遺伝子の交絡解明とエビデンス構築	三木 哲郎	プロテオ医学研究センター	2,700,000	補委	日本学術振興会
マラリア原虫スポロゾイトの蚊唾液腺侵入を担う分子群の解析	鳥居 本美	大学院医学系研究科	2,500,000	補委	日本学術振興会
マラリア原虫スポロゾイトの蚊唾液腺侵入を担う分子群の解析	鳥居 本美	大学院医学系研究科	2,900,000	補委	日本学術振興会
白血病幹細胞根絶を目指した人工CTLによる新規免疫遺伝子治療の開発研究	安川 正貴	大学院医学系研究科	2,300,000	補委	日本学術振興会
白血病幹細胞根絶を目指した人工CTLによる新規免疫遺伝子治療の開発研究	安川 正貴	大学院医学系研究科	2,700,000	補委	日本学術振興会
超磁歪素子を用いた次世代埋め込み型骨導補聴器の開発とその臨床評価	暁 清文	大学院医学系研究科	3,100,000	補委	日本学術振興会
超磁歪素子を用いた次世代埋め込み型骨導補聴器の開発とその臨床評価	暁 清文	大学院医学系研究科	3,600,000	補委	日本学術振興会
口腔癌関連microRNAの発現機能解析と臨床応用	中城 公一	大学院医学系研究科	3,600,000	補委	日本学術振興会
口腔癌関連microRNAの発現機能解析と臨床応用	中城 公一	大学院医学系研究科	4,200,000	補委	日本学術振興会
運動器分野の検診と理学療法指導体制の包括的連携を実現する医療情報システムの開発	高橋 敏明	医学部附属病院	1,900,000	補委	日本学術振興会
専門職連携教育による地域医療実習を通じて形成される地域志向性を評価する尺度の開発	川本 龍一	大学院医学系研究科	500,000	補委	日本学術振興会
蛍光標識タイムラプス記録法を用いたプロサポシンの細胞内動態の追跡	小林 直人	大学院医学系研究科	1,800,000	補委	日本学術振興会
破骨細胞前駆細胞における破骨細胞分化因子受容体(RANK)発現制御機構の解析	北澤 理子	大学院医学系研究科	2,300,000	補委	日本学術振興会
診療情報の意味論的解析を行う自律エージェントアルゴリズムの研究	小林 慎治	大学院医学系研究科	1,400,000	補委	日本学術振興会
小児睡眠時無呼吸症候群の疫学と介入研究	岡 靖哲	大学院医学系研究科	2,800,000	補委	日本学術振興会
新規アディポカインBAFFが非アルコール性脂肪性肝疾患の病態に及ぼす影響	阿部 雅則	大学院医学系研究科	1,900,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌におけるPKRの役割とその宿主細胞機能修飾	日浅 陽一	大学院医学系研究科	1,400,000	補委	日本学術振興会
インスリン抵抗性と瞬ホルモン分泌に及ぼす膵組織ACE2/MAS系の意義	岩井 将	大学院医学系研究科	1,900,000	補委	日本学術振興会
骨髄増殖性腫瘍の新しい原因遺伝子Lnkの機能解析	山之内 純	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
免疫記憶細胞化した遺伝子改変T細胞を利用する白血病に対する新規細胞免疫療法の実用化	藤原 弘	医学部附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
ヒト制御性T細胞および免疫抑制系樹状細胞の効率良い誘導法の確立と治療への展開	長谷川 均	大学院医学系研究科	1,600,000	補委	日本学術振興会

高感度質量分析法による皮膚疾患バイオマーカーの網羅的探索	橋本 公二	先端研究・学術推進機構学術企画課	1,500,000	補委	日本学術振興会
尋常性乾癬における細胞内シグナル伝達としてのBcl3、p50の機能解析	白方 裕司	医学部附属病院	2,400,000	補委	日本学術振興会
心停止ドナー肝移植の実施に向けた前臨床研究	高田 泰次	大学院医学系研究科	1,800,000	補委	日本学術振興会
心移植後の慢性拒絶反応(冠動脈硬化病変)発生機序解明に関する研究	泉谷 裕則	大学院医学系研究科	1,800,000	補委	日本学術振興会
脊髄損傷後に新生する神経回路の解明とp38 MAPK inhibitorの効果	森野 忠夫	医学部附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
マウス表皮細胞から形質転換した角膜上皮様細胞を用いた角膜上皮再建の試み	小林 剛	大学院医学系研究科	1,600,000	補委	日本学術振興会
アポトーシス、アノキキ抵抗性の解除に着目した転移制御研究	日野 聡史	医学部附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
絶対定量質量分析法を用いた汗のプロテオーム解析によるアトピー性皮膚炎の病態解明	佐山 浩二	大学院医学系研究科	1,700,000	補委	日本学術振興会
蛍光技術を駆使した革新的骨髄イメージング法の開発と骨転移の時空間的解析	疋田 温彦	大学院医学系研究科	1,300,000	補委	日本学術振興会
先進的遺伝子工学と革新的生体光イメージングによる軟骨でのTGF-β調節機構の解析	三浦 裕正	大学院医学系研究科	1,400,000	補委	日本学術振興会
婦人科悪性腫瘍におけるLgr4機能解析と抗体医薬品開発に向けた研究	小泉 雅江	大学院医学系研究科	1,400,000	補委	日本学術振興会
術後変化に対応し得る人工耳小骨の開発に関する研究	山田 啓之	大学院医学系研究科	1,900,000	補委	日本学術振興会
次世代シーケンサーによる舌痛症関連唾液microRNAの探索	中城 公一	大学院医学系研究科	1,400,000	補委	日本学術振興会
局所温熱化学療法は転移リンパ節に対しても有効な治療法となりうるか	吉田 素平	医学部附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
医療の質を高める臨床判断支援が可能な次世代電子カルテシステムの基盤技術開発	木村 映善	大学院医学系研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
網羅的遺伝子解析による心房細動基質の検討	永井 啓行	医学部附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
ヒトリンパ管内皮細胞におけるLYVE-1sheddingの誘導	岡崎 秀規	大学院医学系研究科	1,800,000	補委	日本学術振興会
トロンピン切断型オステオポンチンの新規脳梗塞急性期血液診断マーカーとしての確立	倉田 美恵	大学院医学系研究科	1,600,000	補委	日本学術振興会
アデニンレセプターを介する術後疼痛治療法の開発	堀内 秀樹	医学部附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
新規子宮内膜症マーカーの産生メカニズムに関する基礎的・臨床的研究	鍋田 基生	医学部附属病院	2,000,000	補委	日本学術振興会
黄色ブドウ球菌点眼ワクチンの開発	鈴木 崇	大学院医学系研究科	2,600,000	補委	日本学術振興会
マルチマーカーによるOSNA法を用いた口腔癌センチネルリンパ節生検の確立	合田 啓之	医学部附属病院	2,000,000	補委	日本学術振興会
細胞表面の糖タンパク質を標的とした口腔癌治療の開発	石川 詔子	大学院医学系研究科	1,900,000	補委	日本学術振興会
上方照明による腹腔鏡手術照明システムの有用性の検討	高井 昭洋	医学部附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
角膜標的細胞誘導条件・培養法の検討と臨床応用	井上 智之	プロテオ医学研究センター	1,200,000	補委	日本学術振興会
睡眠呼吸障害による生活習慣病に関する医療情報提供とその効果の評価	谷川 武	大学院医学系研究科	2,300,000	補委	厚生労働省
アcantアメラ角膜炎制御におけるレンズケアの重要性	大橋 裕一	大学院医学系研究科	6,000,000	補委	厚生労働省
先天性顆粒放出異常症の病態解明と診断法の確立	石井 榮一	大学院医学系研究科	8,000,000	補委	厚生労働省

計 132

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Blood 119: 368-76, 2012	Aurora kinase A-specific T-cell receptor gene transfer redirects T-lymphocytes to display effective anti-leukemia reactivity.	安川正貴 他	第一内科
Cancer Sci. 103: 415-421, 2012	Role of activation-induced cytidine deaminase in the progression of follicular lymphoma.	安川正貴 他	第一内科
J of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics	Ruby implementation of the openEHR specifications.	小林慎治 他	第一内科
Cancer Gene Ther. 19: 566-71, 2012	HLA-restricted presentation of WT1 tumor antigen in B-lymphoblastoid cell lines established using a maxi-EBV system.	安川正貴 他	第一内科
Mol. Ther. Nucleic Acids. 18:(1): e63, 2012	A promising vector for TCR gene therapy: differential effect of siRNA, 2A peptide, and disulfide bond on the introduced TCR expression.	安川正貴 他	第一内科
J. Clin. Oncol. 30: 837-42, 2012	Defucosylated anti-CCR4 monoclonal antibody (KW-0761) for relapsed adult T-cell leukemia-lymphoma: a multicenter phase II study.	藤原 弘 他	第一内科
Oncology letters. 4: 898-904, 2012	Phase I/II study of docetaxel, cisplatin and S-1 in locally advanced, recurrent and metastatic head and neck squamous cell carcinoma.	朝井洋晶 他	第一内科
Rheumatol. Int. 32: 3691-4, 2012	Low level of seroconversion after a novel influenza A/H1N1/2009 vaccination in Japanese patients with rheumatoid arthritis in the 2009	大西佐知子 他	第一内科
Mod. Rheumatol. 22: 532-40, 2012	Influence of antibodies against infliximab and etanercept on the treatment effectiveness of these agents in Japanese patients with	大西佐知子 他	第一内科
Mod. Rheumatol. 22: 488-90, 2012	Anti-ribosomal P protein antibodies are associated with proliferative glomerulonephritis more strongly than with membranous	大西佐知子 他	第一内科
Rheumatol. Int. 32: 1397-401, 2012	Sustained elevation of interleukin-33 in sera and synovial fluids from patients with rheumatoid arthritis non-responsive to anti-tumor necrosis	大西佐知子 他	第一内科
Rheumatol. Int. 32: 801-4, 2012	Healthcare-associated infections in rheumatology in Japan.	大西佐知子 他	第一内科
Nephron Extra 2: 87-103, 2012.	Osteopontin Plays a Critical Role in Interstitial Fibrosis but Not Glomerular Sclerosis in Diabetic Nephropathy.	長尾知明 他	第二内科
Clin Exp Hypertens 34: 612-616, 2012.	Relationship Between Renal Hemodynamics and Urinary Type IV Collagen in Patients with Essential Hypertension.	榎本大次郎 他	第二内科
Hypertens Res 35: 207-212, 2012.	Plasma Thrombin-Cleaved Osteopontin Elevation after Carotid Artery Stenting in Symptomatic Ischemic Stroke Patients.	倉田美恵 他	第二内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol 32: 1453-1459, 2012.	Deletion of the Angiotensin II Type 1a Receptor Prevents Atherosclerotic Plaque Rupture in Apolipoprotein E-/- mice.	檜垣實男 他	第二内科
J Am Soc Hypertens 6: 375-384, 2012.	Inhibition of MCP-1/CCR2 Signaling Pathway is Involved in Synergistic Inhibitory Effects of Irbesartan with Rosuvastatin on Vascular	大島弘世 他	第二内科
PLoS One 7: e48387, 2012.	Direct Angiotensin II Type 2 Receptor Stimulation Ameliorates Insulin Resistance in Type 2 Diabetes Mice with PPAR γ Activation.	大島弘世 他	第二内科
Hypertension 59: 493-499, 2012.	Roles of Interleukin 17 in Angiotensin II Type 1 Receptor-Mediated Insulin Resistance.	大島弘世 他	第二内科
Eur Heart J Cardiovasc Imaging 13: 717-723, 2012.	Impact of Type 2 Diabetes on Serial Changes in Tissue Characteristics of Coronary Plaques: An Integrated Backscatter Intravascular Ultrasound	檜垣實男 他	第二内科
J Cardiol 59: 64-71, 2012.	Direct Measurement of Radial Strain in the Inner-half Layer of the Left Ventricular Wall in Hypertensive Patients.	西村和久 他	第二内科

Hypertens Res 35: 897-902, 2012.	Carotid Arterial Circumferential Strain by Two-Dimensional Speckle Tracking: A Novel Parameter of Arterial Elasticity.	檜垣實男 他	第二内科
Int J Oncol 41: 449-456, 2012.	Antitumor Activity of MEK and PI3K Inhibitors Against Malignant Pleural Mesothelioma Cells in Vitro and in Vivo.	三好誠吾 他	第二内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol 32: 1453-1459, 2012.	Deletion of the Angiotensin II Type 1a Receptor Prevents Atherosclerotic Plaque Rupture in Apolipoprotein E ^{-/-} mice.	青野 潤 他	第二内科
Circ J 76: 2003-2008, 2012.	Impact of Synergistic Polymorphisms in Adrenergic Receptor-Related Genes and Cardiovascular Events in Patients With Dilated	大木元明義 他	第二内科
Intern Med 51: 3317-3322, 2012.	Clinical features and hepatitis B virus(HBV)genotype in pregnant women chronically infected with HBV.	恩地森一 他	第三内科
Euroasian J Hepato-Gastroenterol 2: 30-34, 2012.	Suppression of Inflammatory Mucosal Milieu by Administration of Regulatory Dendritic Cells in an Animal Model of Primary Biliary Cirrhosis.	恩地森一 他	第三内科
Antiviral Res 96: 59-64, 2012.	Strong and multi-antigen specific immunity by hepatitis B core antigen (HBcAg)-based vaccines in a murine model of chronic hepatitis B: HBcAg	恩地森一 他	第三内科
Liver Int 32: 510-8, 2012. 2010.	Biliary atresia and survival into adulthood without transplantation: a collaborative multicentre clinic review.	熊木天児 他	第三内科
Hepatogastroenterology 59: 1893-1895, 2012.	Recent Trends of Japanese Hepatocellular Carcinoma due to HCV in Aging Society.	恩地森一 他	第三内科
J Infect Dis 205: 1121-1130, 2012.	Ribavirin regulatets hepatitis C virus replication through enhancing interferon-stimulated genes and interleukin-8.	恩地森一 他	第三内科
Cardiovasc Diabetol 10: 11-12, 2012.	Uric acid is an independent risk factor for carotid atherosclerosis in a Japanese elderly population without metabolic syndrome.	恩地森一 他	第三内科
J Gastroenterol 47: 696-703, 2012.	Metabolic Markers and ALT Cutoff Level for Diagnosing Nonalcoholic Fatty Liver Disease: A Community-based Cross-sectional Study.	恩地森一 他	第三内科
Lipids 47: 1053-1062, 2012.	High serum palmitic acid is associated with low antiviral effects of interferon-based therapy for hepatitis C virus.	恩地森一 他	第三内科
Int J Oncol 41: 1601-1609, 2012.	Phase I / II study of immunotherapy using tumor antigen-pulsed dendritic cells in patients with hepatocellular carcinoma.	恩地森一 他	第三内科
J Immunol 188: 2164-2172, 2012.	Regulatory Dendritic Cells Pulsed with Carbonic Anhydrase I Protect Mice from Colotos Induced by CD4 ⁺ CD25 ⁻ T Cells.	恩地森一 他	第三内科
Am J Clin Nutr 96: 1341-1349, 2012.	Rapid alternative absorption of long-chain fatty acids with upregulation of glycosylated CD36 in liver cirrhosis.	恩地森一 他	第三内科
Hepatology 56: 1271-1278, 2012.	Reai-time tissue elastography for evaluation of hepatic fibrosis and porta hypertension in non-alcoholic fatty liver diseases.	越智裕紀 他	第三内科
Gastroenterology 143: 1361-74, 2012.	Lymphotoxin b Receptor Signaling Promotes Development of Autoimmune Pancreatitis.	熊木天児 他	第三内科
Hepatology 56: 668-676, 2012.	Long-term outcome of Japanese patients with type 1 autoimmune hepatitis.	恩地森一 他	第三内科
Am J Hum Genet 91: 721-728, 2012.	Genoma-wide Association Study Identifies TNFSF15 and POU2AF as Susceptibility Loci for Primary Biliary Cirrhosis in the Japanese	恩地森一 他	第三内科
BMC Med Genet 13:47, 2012.	Noassociation for Chinese HBV-related hepatocellular carcinoma susceptibility SNP in other East Asian populations.	日浅陽一 他	第三内科
PLoS One 7:e39175, 2012.	Genome-wide association study confirming association of HLA-DP with protection against chronic hepatitis B and viral clearance in	日浅陽一 他	第三内科

J Gastroenterol 48:382-390, 2012.	Inhibition of hepatocellular carcinoma by PegIFN α -2a in patients with chronic hepatitis C: a nationwide multicenter cooperative study.	日浅陽一 他	第三内科
Clin Drug Investig 32:513-521, 2012	Predictive value of the low-density lipoprotein cholesterol to high-density lipoprotein cholesterol ratio for the prevention of stroke	伊賀瀬道也 他	老年・神経内科
Menopause 19:1294-1299, 2012	Low-dose rosuvastatin improves the functional and morphological markers of atherosclerosis in asymptomatic postmenopausal women with	伊賀瀬道也 他	老年・神経内科
J Alzheimers Dis 31:421-428, 2012	Potential Utility of soluble p3-Alcadin α Plasma Levels as a Biomarker for Sporadic Alzheimer's Disease.	三木哲郎 他	老年・神経内科
Endocrine 42: 321-328, 2012	Increased high-density lipoprotein cholesterol is associated with a high prevalence of pre-hypertension and hypertension in community -	川本龍一 他	老年・神経内科
Geriatr Gerontol Int 12:733-740, 2012	Perceived age of facial features is a significant diagnosis criterion for age-related carotid atherosclerosis in Japanese subjects: J-SHIPP	三木哲郎 他	老年・神経内科
Hypertens 59:854-860	Mice lacking hypertension candidate gene ATP2B1 in vascular smooth muscle cells show significant blood pressure elevation. , 2012	三木哲郎 他	老年・神経内科
J Am Geriatr Soc 10:1996-1997, 2012	Atherosclerotic indices for the prediction of cognitive impairment in a middle-aged to elderly general population: shimanami health promoting	小原克彦 他	老年・神経内科
Int J cardiol 158:146-148, 2012	Arterial stiffness in sarcopenic visceral in the elderly: J-SHIPP study.	小原克彦 他	老年・神経内科
Front Neurol 3:1-5, 2012	Efficacy of zolpidem for dystonia: a study among different subtypes.	三木哲郎 他	老年・神経内科
Eur J Neurol.[Epub ahead of print] 2012	Association of Chr 17q25 with cerebral white matter hyperintensities and cognitive impairment:the J-SHIPP study.	田原康玄 他	老年・神経内科
Clin Hemorheol Microcirc 2012 Oct 29. [Epub ahead of print]	Association of hematological parameters with insulin resistance, insulin sensitivity, and asymptomatic cerebrovascular damage: The J-	田原康玄 他	老年・神経内科
Geriatr Gerontol Int 2012 [Epub ahead of print]	Diagnostic criteria for Werner syndrome based on Japanese nationwide epidemiological survey.	三木哲郎 他	老年・神経内科
Atherosclerosis 224: 500-505, 2012	Postprandial hypertension, an overlooked risk marker for arteriosclerosis.	上谷 英里 他	老年・神経内科
J Atheroscler Thromb 19:577-584, 2012	Liver Enzyme and Adipokine Profiles are synergistically associated with Insulin Resistance: the J-SHIPP Study.	上谷 英里 他	老年・神経内科
Nat Genet 44:307-311, 2012	Meta-analysis identifies common variants associated with body mass index in east Asians.	田原康玄 他	老年・神経内科
Osteoporosis Jpn 20: 462-465, 2012	閉経後女性骨粗鬆症の新たなリスクマーカーとしての食後高血糖	田原康玄 他	老年・神経内科
J Clin Endocrinol Metab.97(12):E2277-2281, 2012.	High frequency of HLA B62 in fulminant type 1 diabetes with the drug-induced hypersensitivity syndrome.	大沼 裕 他	糖尿病内科
Eur J Pharmacol 689:72-80, 2012.	Zonisamide up-regulated the mRNAs encoding astrocytic anti-oxidative and neurotrophic factors.	野元正弘 他	薬物療法・神経内科
Clin Neuropharmacol 35(4):182-184, 2012.	Coadministration of Domperidone Increases Plasma Levodopa Concentration in Patients With Parkinson Disease	西川典子 他	薬物療法・神経内科
J Pharmacol Sci 119, 324-329, 2012.	Effect of Renal Impairment on the Pharmacokinetics of Memantine	野元正弘 他	薬物療法・神経内科
J Pharmacol Sci 120:133-137, 2012.	Pramipexole Upregulates Dopamine Receptor D2 and D3 Expression in Rat Striatum.	野元正弘 他	薬物療法・神経内科

Clinical Neuropharmacology 2012; 35:182-184	Coadministration of domperidone increases plasma levodopa concentration in patients with Parkinson Disease.	西川典子 他	薬物療法・神経内科
Int J Geriatr Psychiatry 27(3):271-279, 2012	Prevalence of depression and depressive symptoms among older Japanese people: comorbidity of mild cognitive impairment and	谷向 知 他	精神神経科
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet 159B, 405-413, 2012.	Functional genetic variation at the NRG1 gene and schizophrenia: evidence from a gene-based case-control study and gene expression analysis.	上野修一 他	精神神経科
Mitochondrion 12(6):617-622, 2012	Heteroplasmic m.1624C>T mutation of the mitochondrial tRNA ^{Val} gene in a proband and his mother with repeated consciousness	上野修一 他	精神神経科
J Alzheimers Dis 32(4):895-903, 2012	Combination of antioxidant supplements improved cognitive function in the elderly.	谷向 知 他	精神神経科
Neurobiol Aging 33(11):2633-2640, 2012	Effect of plasma lipids, hypertension and APOE genotype on cognitive decline.	谷向 知 他	精神神経科
Am J Geriatr Psychiatry 20(7):574-583, 2012	Association between cognitive function and plasma lipids of the elderly after controlling for apolipoprotein E genotype.	谷向 知 他	精神神経科
Br J Haematol 156: 672-674	CBL Mutations in Infant Acute Lymphoblastic Leukaemia.	石井榮一 他	小児科
Ped Blood Cancer 59: 110-114	Hemophagocytic lymphohistiocytosis after hematopoietic stem cell transplantation in children: a nationwide survey in Japan.	石井榮一 他	小児科
J Clin Immunol 32: 411-420	Clinical and genetic characteristics of XIAP deficiency in Japan.	石井榮一 他	小児科
Pediatr Aller Immunol 23: 488-493	Clinical features and outcome of X-linked lymphoproliferative syndrome type 1 (SAP deficiency) in Japan identified by a combined use	石井榮一 他	小児科
Am J Hematol 87: 637-639	Reduced intensity conditioning in unrelated donor cord blood transplantation for familial hemophagocytic lymphohistiocytosis.	石井榮一 他	小児科
Leukemia 27: 389-397	Suppression of the let-7b microRNA pathway by DNA hypermethylation in infant acute lymphoblastic leukemia with MLL gene	石井榮一 他	小児科
Rinsho Ketsueki 53: 1898-1905	Treatment outcome of non-Hodgkin lymphoma in childhood: KYCCSG NHL-89, 96.	石井榮一 他	小児科
PLoS ONE 7: e42920, 2012	Anticonvulsive effect of Paeniflorin on experimental febrile seizures in immature rats: possible application for febrile seizures in	日野ひとみ 他	小児科
Epilepsy Behav 23: 387-388.	Over-activation of adenosine A2A receptors and sudden unexpected death in epilepsy.	石井榮一 他	小児科
Journal of Gastroenterology and Hepatology 27 (2012)406-411	Tumor local chemohyperthermia using docetaxel-embedded magnetoliposomes:Interaction of chemotherapy and hyperthermia	渡部祐司 他	消化器腫瘍外科
Journal of Magnetism and Magnetic Materials 324(2012)1985-1991	High heat generation ability in AC magnetic field for nano-sized magnetic Y3Fe5O12 powder prepared by bead milling	渡部祐司 他	消化器腫瘍外科
Journal of Functional Biomaterials.2012, 3, 163-172	Development of Ti-Coated Ferromagnetic Needle, Adeptable for Ablation Cancer Therapy by High-Frequency Induction Heating	渡部祐司 他	消化器腫瘍外科
Liver Transpl. 2012; 18(11), 1343-1352.	Long-term quality of life of donors after living donor liver transplantation.	高田泰次 他	肝胆臓・移植外科学
Br J Radiol 2012; 85, 887-896.	CT and MR cholangiography: advantages and pitfalls in perioperative evaluation of biliary tree.	串畑史樹 他	肝胆臓・移植外科学
Clin Transplant; 26(6), 857-867.	Steroid-free living donor liver transplantation for HCV- a multicenter prospective cohort study in Japan.	高田泰次 他	肝胆臓・移植外科学

Transpl Immunol.2012 Mar;26(2-3):133-9.	Peculiar mechanisms of graft recovery through anti-inflammatory responses after rat lung transplantation from donation after cardiac death.	岡崎幹生 他	心臓血管外科
Ann Thorac Surg. 2012 Feb;93(2):606-13.	Surgical results for functional univentricular heart with total anomalous pulmonary venous connection over a 25-year experience.	岡村 達 他	心臓血管外科
J Thorac Dis.2012 Jun 1;4(3):247-58.	Five-year update on the mouse model of orthotopic lung transplantation: Scientific uses, tricks of the trade, and tips for success.	岡崎幹生 他	心臓血管外科
Eur J Cardiothorac Surg.2012 Mar;41(3)669-75.	Egr1: a novel target for ameliorating acute allograft rejection in an experimental lung transplant model.	岡崎幹生 他	心臓血管外科
J Neurol Surg B Skull Base 73(1)Feb: 42-47, 2012	Usefulness of endoscope-assisted microsurgery for removal of vestibular schwannomas	久門良明 他	脳神経外科
Jpn J Radiol 30(10)Dec: 806-10, 2012	Prognosis of primary central nervous system lymphoma treated with radiotherapy alone	大西丘倫 他	脳神経外科
Neurosurg Rev 35(4)Oct: 583-92; discussion 592, 2012	Preauricular transzygomatic anterior infratemporal fossa approach for tumors in or around infratemporal fossa lesions	大上史朗 他	脳神経外科
J Cell Biochem 113(2): 508-517, 2012	Oct-3/4 promotes migration and invasion of glioblastoma cells	大西丘倫 他	脳神経外科
Neurosurgery 70(2)Feb: 283-93; discussion 294, 2012	Accuracy of diffusion tensor magnetic resonance imaging-based tractography for surgery of gliomas near the pyramidal tract: a significant	大上史朗 他	脳神経外科
J Orthop Sci 17:358-369, 2012	A pilot project for the Japan arthroplasty Register.	三浦裕正 他	整形外科
Neurosci Res 2012 72 279-282	A novel thermoelectric cooling device using Peltier modules for inducing local hypothermia of the spinal cord: the effect of local electrically-	三浦裕正 他	整形外科
Journal of Spine Research 2012 3 811-814	80歳以上の高齢者に対する脊椎手術における合併症の検討	堀内秀樹 他	整形外科
NeuroReport 2012 23 546-50	p38 mitogen activated protein kinase inhibitor reduces neurocan production in cultured spinal cord astrocytes.	尾形直則 他	整形外科
BMC Cell Biol. 2012; 13:24.	Genistein inhibits cell invasion and motility by inducing cell differentiation in murine osteosarcoma cell line LM8.	三浦裕正 他	整形外科
J Invest Dermatol; 132: 1933-1935, 2012.	IFN-alpha enhances IL-22 receptor expression in keratinocytes: a possible role in the development of psoriasis.	藤山幹子 他	皮膚科
Br J Dermatol; 166: 322-330, 2012.	Possible involvement of CD14+ CD16+ monocyte lineage cells in the epidermal damage of Stevens-Johnson syndrome and toxic epidermal	藤山幹子 他	皮膚科
J Dermatol Sci; 65: 50-57, 2012.	Interactions between myofibroblast differentiation and epidermogenesis in constructing human living skin equivalents.	佐山浩二 他	皮膚科
J Dermatol Sci; 65: 224-226, 2012.	Epidermogenesis in a skin wound deep through the basement membrane contributes to scar formation.	佐山浩二 他	皮膚科
J Dermatol; 39: 366-374, 2012.	Targeted overexpression of Angptl 6/angiopoietin-related growth factor in the skin promotes angiogenesis and lymphatic vessel	佐山浩二 他	皮膚科
Mol Biol Cell; 23: 1964-1975, 2012.	Cell surface annexins regulate ADAM-mediated ectodomain shedding of proamphiregulin.	佐山浩二 他	皮膚科
J Invest Dermatol; 132: 1141-1148, 2012.	Pathogenic anti-desmoglein 3 mAbs cloned from a paraneoplastic pemphigus patient by phage display.	佐山浩二 他	皮膚科
Exp Dermatol; 21: 307-309, 2012.	Hair-inducing ability of human dermal papilla cells cultured under Wnt/beta-catenin signalling activation.	佐山浩二 他	皮膚科

Curr Opin Allergy Clin Immunol; 12: 376-382, 2012.	Immunological mechanisms of epidermal damage in toxic epidermal necrolysis.	藤山幹子 他	皮膚科
PLoS ONE; 7: e31641, 2012.	Lamellar granule secretior starts before the establishment of tight junction barrier for paracellular tracers in mammalian epidermis.	望月輝一 他	皮膚科
J Dermatol Sci; 67: 73-76, 2012.	Over-Expression of kallikrein related peptidases in palmoplantar pustulosis.	望月輝一 他	皮膚科
Mol Oncol 6(3)311-322 2012	Adseverin:A novel cisplatin-resistant marker in the human bladder cancer cell line HT1376 identified by quantitative proteomic analysis	三浦徳宣 他	泌尿器科
泌尿器外科 25(6)1340-1342 2012	浸潤性膀胱癌に対するGemcitabine+Cisplatin療法を用いた術前補助化学療法	丹司 望 他	泌尿器科
Case Rep Ophthalmol.3(3):356-359, 2012.	Cytomegalovirus retinitis after multiple ocular surgeries in an immunocompetent patient.	大橋裕一 他	眼科
Arch Ophthalmol. 130(11):1462-1464, 2012.	Real-time polymerase chain reaction for diagnosing acyclovir-resistant herpetic keratitis based on changes in viral DNA copy number	大橋裕一 他	眼科
Cornea. 31 Suppl 1:S68-73, 2012.	The "replacement hypothesis": corneal stem cell origin epithelia are replaced by limbal stem cell origin epithelia in mouse cornea during	大橋裕一 他	眼科
Eye Contact Lens. 38(5):326-330, 2012.	Blepharo-tensiometer: new eyelid pressure measurement system using tactile pressure sensor.	大橋裕一 他	眼科
Mol Vis. 18:1505-1515, 2012.	Involvement of stem cell factor and c-kit in corneal wound healing in mice.	大橋裕一 他	眼科
BMC Ophthalmol. 12:17, 2012.	In vivo confocal microscopic and histological findings of unknown bullous keratopathy probably associated with pseudoexfoliation syndrome.	大橋裕一 他	眼科
Cornea. 31(10):1170-1175, 2012.	Effects of multipurpose contact lens care solutions on the adhesion of Acanthamoeba to silicone hydrogel contact lenses.	宇野敏彦 他	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 53(4):2414-2423, 2012.	Important role of epiregulin in inflammatory responses during corneal epithelial wound healing.	大橋裕一 他	眼科
Ophthalmology. 119(6):1111-1119, 2012.	Assessment of Real-Time Polymerase Chain Reaction Detection of Acanthamoeba and Prognosis Determinants of Acanthamoeba	大橋裕一 他	眼科
J Clin Microbiol. 50(5):1606-1612, 2012.	Use of 5-cyano-2, 3-ditoly-tetrazolium chloride staining as an indicator of biocidal activity in a rapid assay for anti-Acanthamoeba agents.	大橋裕一 他	眼科
Cornea. 31(1):66-73, 2012.	Confocal microscopic observations of stromal keratocytes in soft and rigid contact lens wearers.	大橋裕一 他	眼科
Eye Contact Lens. 38(6):388-93, 2012.	Antimicrobial efficacy tests of multipurpose contact lens care solutions simulating poor contact lens hygiene behaviors.	宇野敏彦 他	眼科
J Antimicrob Chemother. 67:2143-51, 2012.	Gilmore MS Wall teichoic acid protects Staphylococcus aureus from inhibition by Congo red and other dyes.	鈴木崇 他	眼科
Am J Ophthalmol. Nov;154(5):825-832, 2012.	Association of Toll-like receptor 4 gene polymorphisms in Japanese subjects with primary open-angle, normal-tension, and exfoliation	大橋裕一 他	眼科
Adv Ther. 29(4):339-49, 2012.	Comparison of corneal and aqueous humor penetration of moxifloxacin, gatifloxacin and levofloxacin during keratoplasty.	大橋裕一 他	眼科
あたらしい眼科 29(5):669-678, 2012.	細菌性結膜炎および細菌性角膜炎に対する1.5%レボフロキサシン点眼液(DE-108点眼液)の第Ⅲ相臨床試験	大橋裕一 他	眼科
あたらしい眼科 29(6):849-853, 2012.	オフロキサシゲル化点眼液投与後の涙液安定性と視機能の推移	大橋裕一 他	眼科

日本コンタクトレンズ学会誌 54: 208-287, 2012.	重症コンタクトレンズ関連角膜感染症の発症地域 と発症時期	植田喜一 他	眼科
Case Rep Ophthalmol.3(3):356-359, 2012.	Cytomegalovirus retinitis after multiple ocular surgeries in an immunocompetent patient.	鳥山浩二 他	眼科
あたらしい眼科 29(4):527- 535, 2012.	3%ジクアホソルナトリウム点眼液のドライアイを対 象としたオープンラベルによる長期投与試験	山口昌彦 他	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 53(10):6305-6313, 2012.	Effect of photodynamic therapy with methylene blue on Acanthamoeba in vitro.	水戸毅 他	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 53(4):2414-2423, 2012.	Important role of epiregulin in inflammatory responses during corneal epithelial wound healing.	大橋裕一 他	眼科
Clin Ophthalmol. 6:1873- 1878, 2012.	Assessment of retinal sensitivity using a time- saving strategy in normal individuals.	溝上志朗 他	眼科
International Journal of Otolaryngology 10:1155, 2012	Endoscopic Laryngeal Findings in Japanese Patients with Laryngopharyngeal Reflux Symptoms	田口亜紀 他	耳鼻咽喉科
Otolaryngology-Head and Neck Surgery 146(4):641- 646, 2012	Facial Nerve Decompression Surgery Using bFGF-Impregnated Biodegradable Gelatin Hydrogel in Patients with Bell Palsy	羽藤直人 他	耳鼻咽喉科
Artificial Organs 36(2):178- 184, 2012	Liposome-Encapsulated Hemoglobin Alleviates Hearing Loss After Transient Cochlear Ischemia and Reperfusion in the Gerbil	暁清文 他	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 39:572-576, 2012	Re-implantation of the Rion E-type semi- implantable hearing aid: Status of long-term use and hearing outcomes in eight patients	暁清文 他	耳鼻咽喉科
Acta Oto-Laryngologica 132:783-787, 2012	Myogenin expression in facial muscle following damage to the facial nerve	白馬伸洋 他	耳鼻咽喉科
Acta Oto-Laryngologica 132:1013-1017, 2012	Objective assessment of the severity of unilateral facial palsy using OKAO VisionR facial image analysis software	暁清文 他	耳鼻咽喉科
Oral Oncology 48:958-963, 2012	One-step nucleic acid amplification for detecting lymph node metastasis of head and neck squamous cell carcinoma	合田啓之 他	耳鼻咽喉科
Otology&Neurotology 33:396-399, 2012	Galectin-7 as a Marker of Cholesteatoma Residue and Its Detection During Surgery by an Immunofluorescent Method -A Preliminary Study	高木大樹 他	耳鼻咽喉科
Journal of Voice 26(5):668e15-668e19, 2012	Japanese Version of Voice Handicap Index for Subjective Evaluation of Voice Disorder	田口亜紀 他	耳鼻咽喉科
Eur Arch Otorhinolaryngol 26:2012	Age-related changes in rat intrinsic laryngeal muscles: analysis of muscle fibers, muscle fiber proteins, and subneural apparatuses	西田直哉 他	耳鼻咽喉科
頭頸部癌 38(3):318-322, 2012	喉頭癌cT3症例に対する喉頭全摘術の治療成績	上田哲平 他	耳鼻咽喉科
Facial N Res Jpn 32:128- 130, 2012	Bell麻痺に対する再生促進顔面神経減荷手術	羽藤直人 他	耳鼻咽喉科
Jpn J Radiol. 2012 Jun;30(5):430-4.	Factors affecting the local control of stereotactic body radiotherapy for lung tumors including primary lung cancer and metastatic lung tumors.	濱本泰 他	放射線科
Jpn J Radiol. 2012 Oct;30(8):671-5.	Lung-cancer related chest events detected by periodical follow-up CT after stereotactic body radiotherapy for stage I primary lung cancer:	濱本泰 他	放射線科
Jpn J Radiol. 2012 Nov; 30(9):743-51.	Risk of hypervascularization in small hypovascular hepatic nodules showing hypointense in the hepatobiliary phase of	望月輝一 他	放射線科
Breast Cancer. 2012 Feb 15. [Epub ahead of print]	Identification of candidates for postmastectomy radiotherapy in patients with pT3N0M0 breast cancer.	濱本 泰 他	放射線科

Breast Cancer. 2012 Mar 17. [Epub ahead of print]	Impact of aggregate of risk factors for isolated locoregional failure in breast cancer patients treated with mastectomy without radiotherapy.	濱本 泰 他	放射線科
Breast Cancer. 2012 May 9. [Epub ahead of print]	Are there high-risk subgroups for isolated locoregional failure in patients who had T1/2 breast cancer with one to three positive lymph	濱本 泰 他	放射線科
Ann Nucl Med. 2012 Sep 6. [Epub ahead of print]	Performance of a semiconductor SPECT system: comparison with a conventional Anger-type SPECT instrument.	望月輝一 他	放射線科
Ann Hematol. 2012 Oct 19. [Epub ahead of print]	Maximum standard uptake value of (18)F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography is a prognostic factor for progression-free	宮川正男 他	放射線科
Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2012 Mar;13(3):242.	Natural history of a coronary plaque followed by computed tomography.	檜垣實男 他	放射線科
Ann Nucl Med	Differentiation of Tumor Recurrence from Radiation-Induced Pulmonary Fibrosis after Stereotactic Ablative Radiotherapy for Lung	望月輝一 他	放射線科
J Gene Med. 2012 ;14(2):120-127.	Antitumor effect of chondroitin sulfate-coated ternary granulocyte macrophage-colony-stimulating factor plasmid complex for ovarian	濱田雄行 他	産科婦人科
The Journal of Veterinary Medical Science. Vol. 74, No. 6, 2012: 805-808.	Expressions on the Vaginal Epithelium in Pregnant Mice.	鍋田基生 他	産科婦人科
J Vet Med Sci. Epub 2012 Dec 10.	Gene Transcriptions of Toll-Like Receptors in the Mouse Uterus during Gestation.	鍋田基生 他	産科婦人科
J Vet Med Sci. Epub 2012 Dec 14.	Differential Expressions of Toll-Like Receptor Genes in the Vagina of Pregnant Mice.	鍋田基生 他	産科婦人科
日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 28(2): 650-655, 2012	全腹腔鏡下子宮全摘術における縫合結紮トレーニング機器の開発.	藤岡 徹 他	産科婦人科
Oral Oncol 48(8): 678-685, 2012	Growth inhibition and apoptosis by an active component of OK432, a streptococcal agent, via Toll-like receptor 4 in human head and neck	浜川裕之 他	歯科口腔外科
Oral Oncol 48(8): 663-70, 2012	Premetastatic vasculogenesis in oral squamous cell carcinoma xenograft-draining lymph nodes.	浜川裕之 他	歯科口腔外科
Oral Oncol 48(10): 958-63, 2012	One-step nucleic acid amplification for detecting lymph node metastasis of head and neck squamous cell carcinoma.	浜川裕之 他	歯科口腔外科
愛媛医学 31(2): 62-68, 2012	口腔扁平上皮癌における頸部リンパ節転移分子診断マーカーの同定.	岡 亮太 他	歯科口腔外科
Clin Exp Hypertens 2012; 34: 92-98.	A slightly low hemoglobin level is beneficially associated with arterial stiffness in Japanese community-dwelling women.	川本龍一 他	地域医療学
Metab Syndr Relat Disord 2012; 10: 83-91.	γ -Glutamyl transferase and high-molecular-weight adiponectin levels are synergistically associated with metabolic syndrome and insulin	川本龍一 他	地域医療学
Cardiovasc Diabetol 2012; 11: 2.	Uric acid is an independent risk factor for carotid atherosclerosis in a Japanese elderly population without metabolic syndrome.	恩地森一 他	地域医療学
Endocrine 2012; 42: 321-328.	Increased high-density lipoprotein cholesterol is associated with a high prevalence of pre-hypertension and hypertension in community-	川本龍一 他	地域医療学
Metab Syndr Relat Disord 2012; 10: 380-386.	Plasma resistin levels are associated with insulin resistance in older Japanese men from a rural village.	川本龍一 他	地域医療学
Cardiovasc Diabetol 2012; 11: 117.	Alanine aminotransferase/aspartate aminotransferase ratio is the best surrogate marker for insulin resistance in non-obese	川本龍一 他	地域医療学
Diabetes 2012, Nov 27.	Plasma Resistin Is Associated With Single Nucleotide Polymorphisms of a Possible Resistin Receptor, the Decorin Gene, in the General	大沼 裕 他	地域医療学

Int J Oncol 41: 1601-1609, 2012.	Phase I/II study of immunotherapy using tumor antigen-pulsed dendritic cells in patients with hepatocellular carcinoma.	恩地森一 他	地域医療学
Hepatology 56: 668-676, 2012.	Long-term outcome of Japanese patients with type 1 autoimmune hepatitis.	恩地森一 他	地域医療学
J Gastroenterol 47: 696-703, 2012.	Metabolic markers and ALT cutoff level for diagnosing nonalcoholic fatty liver disease: a community-based cross-sectional study.	恩地森一 他	地域医療学
J Invasive Cardiol 2012 Sep;24(9):428-32.	Impact of chronic total coronary occlusion on microvascular reperfusion in patients with a first anterior ST-segment elevation myocardial	鈴木 誠 他	地域救急医療学
Epilepsy Behav 2012 23(3): 387-8.	Over-activation of adenosine A(2A)receptors and sudden unexpected death in epilepsy	福田光成 他	地域救急医療学
PLoS One. 2012 7(8):e42920	Anticonvulsive effect of paeoniflorin on experimental febrile seizures in immature rats: possible application for febrile seizures in	福田光成 他	地域救急医療学
J Gastroenterol 47: 696-703, 2012.	Metabolic markers and ALT cutoff level for diagnosing nonalcoholic fatty liver disease: a community-based cross-sectional study.	恩地森一 他	地域生活習慣病・内分泌学
Regul Pept 176: 28-35, 2012.	A relationship between motilin and growth hormone secretagogue receptors.	布井弘明 他	地域生活習慣病・内分泌学
Intern Med 51: 2151-5, 2012.	Long-term branched-chain amino acid supplementation improves glucose tolerance in patients with nonalcoholic steatohepatitis-related	恩地森一 他	地域生活習慣病・内分泌学
臨床放射線, 57巻9号: 1184-1192, 1012	当院で手術をされ、組織学的に確診が得られた腎細胞癌 連続48症例の画像所見の検討.	小岩原元 他	病理部
Stud Health Technol Inform, 180:1117-9, 2012	Statistical disclosure limitation of health data based on pk-anonymity	木村映善 他	医療情報部
Jap. J. Cancer Chem. 39: 2537-44, 2012.	Current problems associates with "alopecia" and "wigs" for outpatients undergoing cancer therapy.	薬師神芳洋 他	腫瘍センター
Anti-Cancer Agents Med. Chem. 12, 829-834, 2012.	Concurrent administration of Rituximab and CHOP chemotherapeutic agents for outpatients with CD20-positive lymphoma.	薬師神芳洋 他	腫瘍センター
Pediatr Int. 2012 Apr;54(2):280-2	Life-threatening acute renal failure due to imperforate hymen in an infant	石井榮一 他	小児総合医療センター (小児循環器部門)
Cardiol Young 2012 Epub 2012 Aug 22.	Successful introduction of interventional catheterization and other pediatric cardiology services in a developing country	檜垣高史 他	小児総合医療センター (小児循環器部門)
Intern Med 51(17):2291-2297, 2012	Relationships of decreased lung function with metabolic syndrome and obstructive sleep apnea in Japanese males.	岡 靖哲 他	睡眠医療センター
J Sleep Res 21(4):410-418, 2012	Differences in relationships among sleep apnoea, glucose level, sleep duration and sleepiness between persons with and without type 2	岡 靖哲 他	睡眠医療センター
最新精神医学 17(3):271-276, 2012	精神疾患に伴う不眠に対するramelteonの臨床効果.	河邊憲太郎 他	睡眠医療センター
Clinical Journal of Pain 28, 373-381(2012)	The Japanese study group for the relief of opioid-induced gastrointestinal dysfunction: A multi-institution study analyzing effect of	荒木博陽 他	薬剤部
Journal of Pharmacological Sciences 120, 1-5(2012)	A new method for evaluation of motivational effects of drugs	荒木博陽 他	薬剤部
Anti-Cancer Agents in Medicinal Chemistry 12, 829-834(2012)	Concurrent administration of Ritsuximab and CHOP Chemotherapeutic agents for outpatients with CD20-positive Lymphoma	荒木博陽 他	薬剤部
臨床精神薬理 15, 373-388 (2012)	統合失調症薬物治療の変遷に関する調査研究-精神科病院入院患者を対象とした過去15年間の後方視的分析と考察-	荒木博陽 他	薬剤部

日本病院薬剤師会雑誌 48, 995-999(2012)	ATC/DDDシステムを利用した多施設抗菌薬使用量調査の有用性	田中亮裕 他	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌 48, 995-999(2012)	ATC/DDDシステムを利用した多施設抗菌薬使用量調査の有用性	田中亮裕 他	薬剤部
愛媛医学 Vol.31 No.14: 179-185, 2012	Association between antihypertensive drug use and subjective sleep disturbance in the general population	櫃本真幸 他	医療福祉支援センター
J. Biol. Chem. 287(51): 42455-42468, (2012).	Rab13 Small G Protein and Junctional Rab13-binding Protein (JRAB)Orchestrate Actin Cytoskeletal Organization during Epithelial	松下夏樹 他	先端医療創生センター

計 201

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 檜垣 實男
管理担当者氏名	放射線部長・ME機器センター長 望月 輝一、薬剤部 荒木 博陽、 医療情報部長 石原 謙、看護部長 田渕 典子、総務課長 菅波 悦朗、 人事労務課長 池内 浩二、医事課長 藤田 義和、 医療サービス課長 西部 敬司、経営管理課長 池田 政昭、 研究協力課長 佐々木 昇

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患 者に係る入院期間中の診療経過の要約 及び入院診療計画書	各診療科 薬剤部 看護部 放射線部 医療情報部 医事課	エックス線写真は集中管理 (放射線部) カルテは医療情報部で一括保管 (1患者1カルテ)
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳 簿	人事労務課
	高度の医療の提供の実績	医事課
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	研究協力課
	高度の医療の研修の実績	人事労務課
	閲覧実績	総務課
	紹介患者に対する医療提供 の実績	医事課
入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
第規 一則 号第 一に 掲条 げの る十 体一 制第 一項 保各 の号 状及 び第 九条 の二 十	医療に係る安全管理 のための指針の整備状 況	医療サービス課
	医療に係る安全管理 のための委員会の開催 状況	医療サービス課
	医療に係る安全管理 のための職員研修の実 施状況	医療サービス課
	医療機関内における 事故報告等の医療に係 る安全の確保を目的と した改善のための方策 の状況	医療サービス課
	専任の医療に係る安 全管理を行う者の配置 状況	医療サービス課
	専任の院内感染対策 を行う者の配置状況	医療サービス課
	医療に係る安全管理 を行う部門の設置状況	医療サービス課

三 第 一 項	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課
------------------	------------------------------------	---------

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	医療サービス課
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療サービス課
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療サービス課
	各号	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	及び	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第九条	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	の	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第二十三	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器センター
	第一項	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
	第一号に掲げる体制の確保の状況	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	運営部長 越智 郁夫
閲覧担当者氏名	総務課長 菅波 悦朗
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	85.1%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	12,381	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,762	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	310	人
	D: 初診の患者の数	16,426	人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号及び第 9 条の 23 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 患者中心の医療の実践(2) 医療安全に関する組織的取り組み(3) インシデントの報告と情報の共有(4) 機能する医療事故防止対策(5) 適切な医療事故への対応(6) 患者相談の実施，指針等の閲覧(7) 医療安全教育・研修，啓発(8) 医療安全管理マニュアルの作成・更新	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療に係る安全管理のための指針の策定及び変更に関する事。(2) 医療事故防止対策の検討及び研究に関する事。(3) インシデントの分析及び再発防止策の検討に関する事。(4) 医療事故防止のための啓発，教育及び研修に関する事。(5) 医療事故に対する対応策の策定に関する事。(6) 患者及び家族等の被害者への対応に関する事。(7) 関係公的機関への報告に関する事。(8) 報道に関する事。(9) その他，医療の安全管理及び医療事故対策に関する事。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成 24 年度：第 1 回 インフォームド・コンセントと説明同意文書 第 2 回 医療メデイエーションの基本と実践 第 3 回 院内救急対応について</p> <p>上記の講演会欠席者に対しては DVD 上映会及び DVD 回覧を実施している。</p> <p>各部門の特性に合わせた研修会（薬剤、放射線関係、ME 機器など）</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 会議等でのインシデント報告内容の検討，根本原因の把握，改善内容の確認及び以上の情報共有(2) 医療安全管理部で年間活動目標立案，実施(3) 医療安全のための現場確認ラウンド実施(4) 医療安全に関する講演会を実施し，職員の教育，啓発を実施	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (4 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 無

- ・ 所属職員： 専任（ 2 ）名 兼任（ 22 ）名
- ・ 活動の主な内容：
 - (1) 報告のあったインシデントのモニタリング，分析及び影響レベルの判定に関する事。
 - (2) インシデント審議委員会及びインシデント調査委員会に関する事。
 - (3) インシデントごとの解決策及び再発防止策の企画・立案に関する事。
 - (4) 医療安全体制システム及びマニュアルの見直しに関する事。
 - (5) 医療安全管理委員会等で決定した事項についての周知の確認及びそれに必要な指導に関する事。
 - (6) 安全管理に関する教育・研修等の実施に関する事。
 - (7) 医療安全管理委員会の資料及び議事録の作成・保存等の運営に関する事。
 - (8) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされている事の確認及び必要な指導に関する事。
 - (9) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び必要な指導に関する事。
 - (10) 事故等の原因究明が適切に実施されている事の確認及び必要な指導に関する事。
 - (11) 他の委員会，患者相談窓口等他部門及びリスクマネージャー等との連絡調整に関する事。
 - (12) 医療事故防止等に係る情報提供に関する事。

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

有 無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 病院感染対策に関する基本的な考え方2. 病院感染対策のための委員会等に関する事項3. 職員研修の実施4. 病院感染発生時の対応5. 病院感染対策マニュアルの整備6. 患者への情報提供と説明7. その他院内における感染対策の推進	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染の調査、予防対策に関すること2. 院内感染防止の実施、監視及び指導に関すること3. 院内感染発生時の措置に関すること4. 職員の院内感染の教育に関すること5. その他院内感染防止に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成 2 4 年度：第1回 感染対策の基礎 第2回 院内感染と法律問題 第3回 インフルエンザ</p> <p>講演会欠席者に対してはDVD上映会及びDVD回覧を実施している。</p> <p>各部門の特性に合わせた研修会（病棟・外来職員、外部委託業者など）</p>	
⑦ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>厚生労働省・院内感染サーベイランス (JANIS) に加入し、検査部門と全入院患者部門の報告をしている。</p> <p>職業感染研究所へエピネット (針刺し) 報告を実施している。</p> <p>感染症予防法に基づく届出等のマニュアルに基づき報告している。</p> <p>院内感染対策委員会における審議内容を、病院運営会議及び病院連絡協議会において報告している。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>コンサーテーション業務</p> <p>各部署 (職種別) 研修会・勉強会を実施</p> <p>定期的なICTラウンド (1 回/週) の実施</p> <p>微生物検出状況の把握及び耐性菌の検出や、通常は検出数の少ない微生物の検出等があった場合の感染対策の現状確認</p> <p>抗菌薬の使用状況の把握</p>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">○『抗がん剤の安全な管理と安全な取り扱いについて』暴露対策やがん化学療法患者におけるB型肝炎スクリーニングの実例を紹介した。○病棟における『麻薬ならびに向精神薬の保管管理』について当院での麻薬関連インシデントを紹介し注意喚起を図った。○『処方薬・注射薬の取り扱いについて』実例をまじえながら説明を行った。○『医薬品安全性情報の利用方法や医薬品副作用被害救済制度について』の情報提供を行った。○『持参薬の取り扱い』でのリスク事例を通してその対策について研修会を行った	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有 無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">○医薬品安全管理手順書は年一回更新しており、今年度は平成25年6月に改訂した。○医薬品の採用は奇数月に薬事委員会を開催し、審議して決定している。○院内処方せん、院外処方せんの疑義照会の内容は電子カルテに反映させている。○病棟における配置薬品は月1回、病棟薬剤師が在庫数量、使用期限をチェックしている。○入院時には患者の医薬品の使用情報を確認して病院内で情報共有化を図っている。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">○病院情報データ抽出システム(CLISTA!SEARCH)にて、医薬品の投薬・注射状況や副作用等の情報を把握し、病院メーリングリスト、電子カルテメール、紙媒体等を併用し、医薬品適正使用情報等の情報提供を行っている。○薬品情報管理室の薬剤師と病棟薬剤業務を行う薬剤師で月2回カンファレンスを実施し、副作用収集に努めている。○薬品情報管理室がメンテナンスを行っている医薬品データベース(MD bank)をデータベースとし、電子カルテ端末から医薬品検索システム(MD View)へアクセスすることにより、医薬品安全性情報等を入手でき環境を保っている。○薬品情報管理室より薬事委員会、医療安全委員会に対して迅速な開催および必要な対策を行い実施することができる。適正な措置に必要な情報は病院情報データ抽出システムで収集し、病院メーリングリスト、電子カルテメール、紙媒体等を併用し、情報提供を実施している。○薬剤関連のインシデント事例から講習会の開催やシステムの変更、部内でのリスクマネージャー会議などリスク軽減対策を積極的に勧めている。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 20 回
<p>・ 研修の主な内容： 「人工呼吸器」「輸液ポンプ」「ペースメーカー」「補助循環装置」 「除細動、AED装置」「血液浄化装置」「高エネルギー放射線発生装置」 「放射線照射装置」等についての、 使用方法や点検、トラブル対策、有効性等を中心に研修実施しています。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 定期点検 日常点検 を主に実施しています。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 関連インシデントの提出と改善分析 院内HPを利用した「安全情報」の共有化</p>	